

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙
第271号
8
25. .25

表紙

・食べる約束だけで生産は持続可能になるか

P3

・活動報告 子育てひろば/映画「ゼロ・ウェイスト」上映会/エスチャンネル
・組合員紹介 ・職員紹介

P2

・厳しい状況のもと、生産を続けていくために

P4

・次世代生産者紹介「中井製茶」
・理事会報告
・おたよりネット ・編集後記

食べる約束だけで 生産は持続可能になるか

昨今、いのちの糧である農産物の生産は危機に瀕しています。生協でもお米をはじめ、野菜や果物の供給量は計画の時点で以前よりも出荷予測量が減少しています。みかんはカタログ注文が十分に企画できない状況で、さらに2025年度は「よやく・る みかん」の企画も維持が困難の見込みのため、豊共園とアイワ研究会以外の他産地のみかんを加えることになりました。今回は、みかんの一大産地である和歌山県有田市で生産をしているアイワ研究会の九鬼卓幸さんに産地の現状についてお話を伺いました。

(聞き手:理事長 吉田 正美、常務理事 山路 登葉)



アイワ研究会(和歌山県日高川町・有田市)

くき たかゆき 九鬼 卓幸さん

農家減少による負担増

山路 アイワ研究会は日高川町と有田市でみかんを栽培されていますが、有田市の産地の様子を教えてください。

九鬼 私が住む有田市では、慣行栽培の「有田みかん」が高値で取り引きされているので、20代の生産者もみかんを作っている地域が一部あります。有田市には「有田みかん課」という課があり、鳥獣害や耕作放棄地の対策などをしていきますが、将来的な展望はあまり明るいとは言えません。後継者がいないみかん農家が多いです。

山路 昔からみかんの一大産地として知られる有田市でもそのような状況ですか。

九鬼 みかん農家は散水作業や農道維持、国からの補助金事業などそれぞれの分野に役員を出して産地を維持しています。今年は梅雨が短かったため、散水委員会では大規模灌水を実施しました。蛇口をひねって水をやるという簡単な作業ではありません。有田川から水を引き、みかん山の3カ所に設置したタンクに水をくみ上げ、頂上の第3タンクから水圧を利用して各園地に散水する大掛かりな作業です。水圧でパイプが破裂してしまうこともあります。みかん農家が減り、高齢化がすすんでいるため、そのような作業も一部の農家に負

担が集中しているのが現状です。

ひどくなる鳥獣害と病虫害

山路 みかんの栽培についてお聞かせください。

九鬼 鳥獣害や病虫害に心が折れそうな日があります。イノシシやシカは果実を食べるだけでなく、木にまでダメージを与えます。アライグマやアナグマ、サルの被害もあります。最近では春先だけでなく冬にも鳥の害があり、カラスは大群でやってくるようになりました。ロケット花火などで威嚇したりしていますが、それにもすぐに慣れてしまします。

また気温が高くなってきたため、病気や害虫が発生する期間が長くなっています。木の剪定、施肥、草刈り、摘果などをして丹精込めて作ったみかんは年に1度しか収穫できません。やつと収穫という段階になってさまざまに要因で出荷が減る場合もあります。

山路 収穫までのリスクが増えていますね。

九鬼 シーズン前に出荷計画を立てる際、今年は何だけ収穫できるか一生涯命考えて数字を出しています。みかんは収穫量が多い表年と少ない裏年があるので2年前の数字を参考にしながら算出しています。また出荷直前まで生産者間で調整をして、可能な限り欠品を出さずに組合員の皆さんにみかんが届けられるよう、私たちは日々努力をしています。それでも鳥獣害など予期せぬ被害に遭い、欠品や規格変更が生じることもあることを組合員の皆さんにご理

解いただければありがたいです。

食べる約束をすすめて、 新たな仕組みづくりを考える

吉田 現在、生協として十分なみかんの量を確保できない状況です。持続可能な生産と消費に向けて、現状の課題に対して生産者としてどのようにお考えでしょうか。

九鬼 先に述べたように、みかん栽培にはいろいろな課題があります。安心してみかん農家を続けていくには安定した収入も必要です。組合員の皆さんにずっと食べ続けてもらえるよう、がんばって栽培していきます。

吉田 3年前から始めた援農に取り組む方の支援や、2025年度のエスコープ大阪総代会では剰余金処分の任意積立金で「一次産業支援積立金」として100万円を決定しました。気候危機をはじめ災害の影響を受けやすい第一次産業を何かがあつてからではなく、支援する体制を微力ながら整えておくためです。また、これまでに作付けを増やさなければ量の確保ができない状況において、価格の見直しや、今まで通り余剰が出た時の消費体制を強化するなど、対策が必要です。

「ないから食べない」では生産は縮小していく一方です。「これだけが必要です」と意思表示をし続け、生産と消費の仕事維持することが大事です。今年も「よやく・る みかん」の予約登録時期になりました。みんなで生産者に食べる意思表示をしましょう。

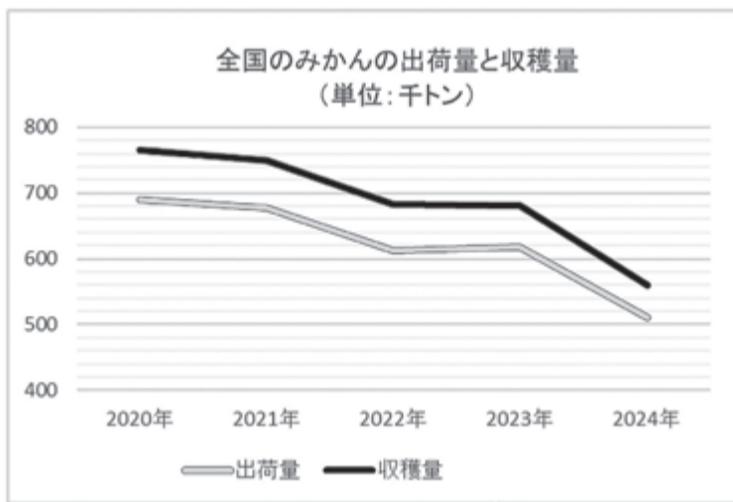
厳しい状況のもと、 生産を続けていくために

農林水産省の調査では2024年の全国のみかんの結果樹面積は前年より3%減少し、収穫量も18%減少(下グラフ参照)しました。生産は年々厳しいものになってきており、私たちにとって身近な果物であったみかんの価格は昨年高騰しました。

このような状況の中、「よやく・る みかん」でシーズン前に予約してみかん

を食べる活動を生活クラブ関西6生協で2017年から統一して取り組んでいます。関西6生協の食べる力を結集することによって、生産と消費の関係をより強固なものにし、安心して食べられるみかんを次の世代にも残せるよう取り組んでいます。

※結果樹面積：栽培面積のうち生産者が当該年産の果実を収穫するために結果させた面積



みかんも人も 気候危機の影響を 受けています

2024年の天候について気象庁がまとめたところによると、東・西日本と沖縄・奄美で記録的な高温となり、夏・秋2季節連続で季節平均気温が観測史上1位になりました。みかんの大幅な収穫量の減少は、夏期の高温による落果や、日焼け果が発生したことなどによると、農林水産省は分析しています。

昨今の猛烈な夏の暑さは、みかんだけでなく農作業をする生産者にとっても負担が大きく、昼間の暑い時間帯を避け、作業時間を短縮せざるを得なくなってきました。また2024年の夏は「よやく・る みかん」の産地では1カ月程度雨が降らなかったため、生産者は水やりに多くの時間をとられました。その結果、摘果作業が追い付かず、みかんが小玉傾向になりました。みかんは気温が下がることで色付いてきませんが、秋に気温が下がらなかつたため、特に早生みかんの着色が進みませんでした。また出荷時期も暖かかったため、輸送途中でみかんの腐りも発生しました。

また、2023年度は夏の暑さが影響し、カメムシが大量発生してみかんの収穫量が減少し、予定していた年明けのみかんの供給ができなかつたり、2024年度は猿の食害があつた地域もありました。

生産者	「よやく・る みかん」の出荷量 (kg)		
	2022年	2023年	2024年
豊共園	135,896	109,932	125,235
アイワ研究会	53,444	44,741	51,015
合計	189,340	154,673	176,250

みかん農家の 援農活動を 支援しています！

第一産業従事者の人手不足や高齢化は全国的に深刻ですが、「よやく・る みかん」の生産者「豊共園」の園地がある和歌山県海南市下津町でも、長年、季節労働者の手を借りて、収穫時期の繁忙期の人手不足

を乗り切っています。

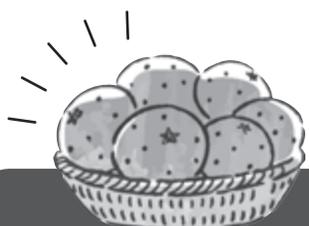
高齢の生産者は、体力的な負担の補いとして人手を必要としています。一方、若手生産者は圃場拡大をしたいという理由で人手を必要としており、産地は慢性的な人手不足の状態です。

エスコープ大阪では2022年より下津町でみかんの収穫などの援農活動をしている「From Farm」の山谷幸司さんに協力して、援農する若者に「協同の家・下津」を2カ月間貸し出しています。また援農募集の『消費委員会ニュース』を発行し、援農者を必要としている産地の現状や産地コミュニティの大切さについて組合員に伝えていきます。

「よやく・る みかん」は、見た目よりも食べる人の安心・安全を優先に考え、農薬使用を必要最低限に抑えて栽培しています。見た目優先で取り引きされる一般市場のみかんとは異なります。そのため約束した量を私たちが食べなければ、生産者は売り先に困ります。気候の変化や生産の担い手不足などの課題がある中、予約して食べることで生産者は売り先を心配せず、安心してみかんを作れます。私たちが安心して食べられるみかんを次の世代にも残すために、今シーズンもみんなですべて予約して食べましょう！

※「協同の家・下津」

「豊共園」と産直取り組みが始まった10年目の1983年に、「一歩進んだ産直関係を育みたい」という生産者の提案を受けて、みかん山の中に建設した交流施設。



「よやく・る みかん」の注文書は9月8日の週に配布します！

大阪市南・中河内地域
子育てひろば
 毎月第1土曜日
 10:00～12:00
 エコスペースゆう
 (大阪市天王寺区)

大阪市南・中河内地域
 福祉パートナー
 平尾 康弘

子育てひろばから 仲間づくり



や見守りサ
 ーターと
 「子どもに
 どんなもの
 を食べさせ
 たらいい
 か」などの
 話をしまし

「子育てひろば」は、毎月1回、四天王寺にほど近い貸しスペース「エコスペースゆう」で開催しています。3名の見守りサポーターで運営し、参加された親子に消費材のおやつとお茶を提供しています。2月1日(土)より始まり、6月までに5回開催(5月のみ第2土曜日に開催)しました。

「エコスペースゆう」は、通常の貸しスペースと異なり、保育をするために作られているので、おもちゃや遊具など必要なものが備え付けられています。そのため、何を準備したらいいのか、どうやって運ばばいいのかといった段取りを考える手間がなく、気軽に開催することができます。

初回は4家族9名(うち子ども5名)の参加がありました。お子さんたちは、おもちゃや滑り台で活発に遊び、親御さんたちは、子どもたちの様子を見ながら、ほかの親御さん

と話をしました。親御さんからは「見守りがあるので、ほっとひと息つける」、「生活クラブのお菓子はおいしいだけじゃなく、安心して食べられますね」といった感想がありました。ひろばを運営していると、今どきの親子の生活や悩みなどを知ることができ、今後の活動の参考になっています。

仲間と一緒に新たな発見

「エコスペースゆう」を始めました。エスコップ大阪がすすめている運動をいろいろなチャンネル(経路)から知っていきこうという企画で、全地域で取り組んでいます。メンバー登録をした組合員が月に1回集まり、自分たちが興味のあるテーマについて体験したり、試作したりして学びながら交流します。

堺市街地地域は理事が不在のため、準備会として次の担い手づくりを中心とした活動を理事会がサポートしておこなっています。新メンバーを募集し、5月から2025年度の「エ

6月のエスコップ大阪のテーマは「虫よけスプレー」でした。残念なが

泉州地域
映画
『ゼロ・ウェイスト』
上映会
 7月3日(木)
 岸和田浪切ホール
 (岸和田市)

泉州地域環境委員会
 環境パートナー 大植 友葵

きれいな地球を 未来の子どもたちにつなげたい



増えていっているのがうれしい。昔はそれが当たり前だったから、また量り売りが身近な存在になると良いですね」と話される方がいました。

映画の中の「私たちがおこなないのは大海の一滴にすぎない。でも、何もしなければ、その一滴も生まれな

参加しました。

映画の中で、環境活動家の武本匡弘さんが、「現在の海はプラスチックスーパになっていて、絶望的な状況」と話していました。7割の珊瑚礁が死んでしまったという事実があり、生き残っている3割をみんなで守り、きれいな海にしていくために、この現状を多くの方に知ってもらうことが大切だと感じました。

上映会には、さまざまな年代の方が参加されました。コンポストを利用して堆肥作りをして生ゴミを減らす生活をされている方や、「必要な物を必要な量だけ買える、量り売りのお店が最近

ら参加者は1名でしたが、ハッカ油を使った虫よけスプレーを作り、市販で販売されている虫よけグッズ(虫よけスプレーや虫よけシール・リング、つ

るすタイプのものなど)の成分や効果などについて話をしました。インターネットにあった説明に、「多くの虫よけシールの適用害虫はユスリカやチョウバエであり、血を吸う力は対象としていません」と記載されており、驚きました。また、「忌避作用成分(害虫などの嫌う成分を用い、近寄らないようにする薬剤)をマイクロカプセル

に浸透させることにより長時間忌避効果を持続」とあり、ここにもマイクロカプセルが使われていることにも驚きました。

「勝負師」の顔を持っています。長男は遊戯王マスター全国大会出場、次男は新体操でインターハイ3回出場の雀士を目指すホスト、長女はバドミントン部

エスコップ大阪歴22年!

昨年11月にエスコップ大阪に入協し、組合員拡大を担当しています。個性豊かな4人の子どもの子育てに奮闘中で、にぎやかな毎日を送っております。子どもたちは皆、それぞれの分野で「勝負師」の顔を持っています。長男は遊戯王マスター全国大会出場、次男は新体操でインターハイ3回出場の雀士を目指すホスト、長女はバドミントン部



職員さんが自己紹介!!

寺下 貴(55歳)
 エスコップ大阪在籍年数9ヵ月
 [共同購入フロア・泉北支所]

これは夏休みに入り、お惣菜や冷凍食品に頼る機会が増えそうですが、エスコップ大阪の美味しい消費材があれば乗り切れると信じています。これから組合員の皆さんや職員の方々と交流できるのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いたします。

辰巳さんは、情報の引き出しのたくさんある組合員です。兵庫県西宮市から引っ越して来た時に、近所に住んでいた妹さんから「食品の基準が厳しく、安全でおいしい」とすすめられて加入されました。二十代の頃から食品添加物の多さ、大気や水の汚染、自然破壊などに慄然とされ、安全な食べ物や環境負荷の少ない生活を心がけてこられました。



紹介します!!
 うちの地域の
 組合員さんです

辰巳 博美さん
 [河内長野・大阪狭山地域]

消費材の良さはもとより、 生協ならではの組合員活動の 良さを体験しています

エスコップ大阪の自主基準や取り組みはとても興味深く、できればいろいろな企画に参加してみたいと思いつつ、フルタイム勤務と子育てで時間が取れず断念されていたそうです。現在は仕事をリタイア、地域委員として活動に参加していらつしやいます。

お気に入りの消費材は「エコシリンプ」。抗生物質や人工飼料を与えず、収穫後すぐに冷凍した鮮度の良いエビで、身が締まって味が濃厚でよく利用されているそうです。娘さんやお孫さんが来ると喜んでくれるので、それを楽しみに腕をふるって料理されています。今、地域では活動の担い手が不足しており、一緒に楽しく活動できる仲間が増えることを願っております。

私はずっとエスコップ大阪の組合員で、どれもおいしく、気づけば22年も利用してきています。特におすすめしたいのは、お肉です。本当においしくて、食卓には欠かせません。これから夏休みに入り、お惣菜や冷凍食品に頼る機会が増えそうですが、エスコップ大阪の美味しい消費材があれば乗り切れると信じています。これから組合員の皆さんや職員の方々と交流できるのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いたします。

聞き手 沼田 典子
 (河内長野・大阪狭山地域理事)



第1回 理事会報告 <6月13日>

【決議事項】

- ① 理事長、専務理事及び常務理事の選出について
- ② 代表理事の選定について



第2回 理事会報告 <7月2日>

【5月度決算報告】

- 供給高 2億2,394万円(前年同月比106.8%)
※配達は1日多い
- 組合員数 18,629名(前月比 +53名)
- 一人当たりの出資金 94,148円

【6月の放射能検査結果】

6月は連合消費材548検体、関西消費材6検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ① 理事長・専務理事に事故がある場合の常務理事の職務執行順序
- ② 2025年度役員報酬額の決定
- ③ 「(株)三協運輸サービス」との共済業務委託契約書締結

【協議事項】

- ① 第59回エスコープ大阪通常総代会開催報告と運営について
- ② 2025年度組織体制
- ③ 『旬菜セット』登録推進キャンペーンの詳細について
- ④ 『竜おうみ米』の品種と栽培基準の提案についての考え方
- ⑤ 『立川有機米研究会』との今後の交流のすめ方について
- ⑥ 理事・委員研修について
- ⑦ 「エスコープまつり」について
- ⑧ 「新緑ふれあいフェス」まとめ
- ⑨ エスコープ大阪Rびん発泡酒開発の方向性と今後の進め方について

編集後記

立秋が過ぎて暦の上では秋ですが、暑い日が続いています。この夏は40℃を超えるところもあり、本当に地球が沸騰しているのではないかと感じてます。この暑さの中でも、空調ウエア(ファンがついている作業着)を着用して除草作業や郵便配達など、仕事をしている人たちがいます。頭が下がります。生協の職員も毎日の配達、ありがとうございます。(Y)



生産者紹介

いっしょに創る未来

京都府相楽郡和束町

中井製茶 中井 章洋さん・章人さん



私たちは、以前から生産者と組合員が直接顔を合わせて議論し、一緒に消費材を作り、運動をすすめてきましたが、生協設立から50年以上経ち、世代変わりしている生産者も増えてきました。そこで、このコーナーでは次世代の生産者や「近畿親生会」の生産者に抱負などを語っていただきます。

組合員の顔を
思い浮かべながら
お茶づくり

エスコープ大阪との付き合いは、1980年頃からです。当時は農薬を使用したお茶を作っていました。が、父の中井春雄が組合員との交流の中で、「無農薬がいい」という思いに触れ、有機栽培に切り替えました。無農薬で栽培するとクモなどの昆虫が増えて刈り取った茶葉の中に入っていることがあります。異物混入しないように、霜取り機(ブローア)できれいに掃除してから刈り取るようにしています。みのむしが大発生した時には、組合員が「みのむし取り応援隊」を結成して手取りしていただきました。カイガラ虫がついた時は高圧洗浄で洗

は高圧洗浄で洗

流しました。今も、いろいろな経験を活かして日々奮闘しています。例えば、みのむしを見たら、その部分を枝ごと深く切り捨ててリセットします。一年後には元通りに回復していきます。農薬を使うと栽培管理が楽です。しかし、お茶は洗うことができません。だから、農薬は使いたくありません。

和束町では、車が入れないような場所や急斜面などにある茶畑は荒廃が進んでいます。特に農家の高齢化が深刻です。最近では、法人化する農家が出てきて従業員を雇い入れ、大規模な経営をおこなっているところもあります。

訪問しました

6月11日(水)、組合員6名と一緒に中井製茶を訪問しました。あいにくの悪天候で茶摘み体験はできませんでしたが、加工場を見学し、担い茶屋をしていただきました。参加者からは、「中井さん父子は、おふたりとも目の光が強く、きらきらとしていて、お茶づくりへの意欲と志の高さが表れていると感じました」「手軽に飲んでいるお茶がこんなに手間ひまをかけて作られ、私たちは口にできているのだなとありがたく思いました」などの声が届きました。

夏に
おすすめ

水1リットルに『ほうじ茶ティーパック』3袋を入れて冷蔵庫に6～8時間置くと、おいしい水出しほうじ茶ができます。

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

268号4面 活動報告「王隠堂の本物の梅干しを食べよう！」を読んで 泉州地域 Mさん

昔ながらの製法の梅干しを探していました。『りっぷる』で「王隠堂農園」の『梅干し』を知り、購入しました。エスコープ大阪が本物や自然を大切に活動されていることがよくわかる内容でした。

269号3面 職員紹介「子の成長は早い！そして次世代へ・・・」を読んで 南河内地域 Tさん

以前、私の地域に配達で来られていた長畑さんが栄転されており、うれしくなりました。働き盛り、身体に気をつけてご家族と生協のため、お力を出してね。お願いします。

Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き
271号(2025.8.25)

(ペンネームOK)

●地域名

●組合員コード

●お名前